

図書館はまちのたからもの 一ひとが育てる図書館

内野 安彦 著(元塩尻市立図書館長)

四六判・220頁 定価(本体2,300円+税) ISBN978-4-8169-2605-1 2016年5月刊行

“図書館は人で決まる” という考えの実践記録

- 市役所の行政部門で18年間勤めた後、図書館員となった著者の「図書館は人で決まる」(素晴らしい図書館サービスは優秀な図書館員の育成から)という考えの実践記録です。
- 市民のための図書館を実現するには何が必要か、著者のノウハウが随所にちりばめられています。

【著者プロフィール】

内野 安彦 うちの・やすひこ

1956年茨城県生まれ。筑波大学大学院図書館情報メディア研究科博士後期課程中退。図書館情報学修士。鹿嶋市役所を経て塩尻市役所に入所、図書館長として新図書館の開館準備を指揮した。常磐大学等非常勤講師。図書館職員研修講師、市民講座講師として全国を飛びまわる。またコミュニティFMで、図書館をテーマにした定期番組(週1回)のパーソナリティを務めている。著書に『だから図書館めぐりはやめられない』(ほおずき書籍 2012)、『図書館はラビリンス』(樹村房 2012)、『塩尻の新図書館を創った人たち』(ほおずき書籍 2014)、『図書館長論の試み』(樹村房 2014)、『ちょっとマニアックな図書館コレクション談義』(大学教育出版 2015)ほか。

〈図書館サポートフォーラムシリーズ〉について

図書館活動の社会的広報に寄与するという趣旨で1996年に創立された「図書館サポートフォーラム」の名称を冠した本シリーズは、緩やかで様々なテーマを通して、図書館活動の発展を出版面でサポートすることを目的とする。

【目次】

はじめに

第1章 図書館への助走

四週間休みなしの役所デビュー／仕事も組合活動も広報づくり一色の日々／学習が評価される組織づくりに奔走／図書館のポテンシャルを市の総合計画に示す

第2章 鹿嶋市の図書館

「ありがとう」で始まる世界／片道二時間半の通学で司書資格を取得／図書館めぐりのはじまり／四三歳で大学院生となって／変えなければならなかったこと／学校図書館変革の第一歩／予期せぬ転職の誘い

第3章 塩尻市の図書館

五〇歳の新規採用職員／中心市街地の活性化に寄与することを使命とした図書館／まずは資料収集方針の見直しに着手／公共サービスとしての図書館の使命を説く／図書館員よ“書を捨てよ、町へ出よう”／書架の配置と排架方法／平成二二年七月二九日、新図書館オープン／図書館は誰のものか

第4章 フリーランスとなって

講演依頼の顛末／拙著が紡ぐ縁／本を上梓するということ／講演よりもやま話／非常勤講師の矜持／ラジオの定期番組のパーソナリティとして

第5章 図書館員をもっと楽しむために

人との交流を通して図書館のPRを／図書館員は地方議会に関心を持とう／図書館と出版文化／書評を書く上で気をつけたいこと／魔法使いを探す旅／名刺交換だけでは繋がらない／他館種の図書館員との交流／地域と図書館／図書館のことを市民は知らない／場所としての図書館／叶わなかった図書館づくりの夢

最後に

縁の不思議さを感じる 永井伸和／私の云いたいことを代弁しているような錯覚を起こす本 坂井暉／図書館づくりの伝道師 堀内秀雄

2016.8

お問い合わせは… 日外アソシエーツ 営業局

TEL.03-3763-5241(代) FAX.03-3764-0845
〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 <http://www.nichigai.co.jp/>

■貴店名	注文書	<p>図書館はまちのたからもの 一ひとが育てる図書館</p> <p>定価(本体2,300円+税) ISBN978-4-8169-2605-1</p>	冊
		 <p>9784816926051</p>	